

ふるさと探訪

第11回 市天然記念物の桜「陽春」



丹原町来見に1本の大きな桜の古木があります。

1914年、近くに農業用水ができたのを記念して、当

時の中川村長が植えた桜と伝えられており、樹齢が約90年、樹高約15[㍎]、枝張り約18[㍎]、目通り約2・5[㍎]の立派な木です。

この桜の木は、平成2年に旧川内町(現東温市)の高岡正明氏によって発見された珍種で、「陽春」という名前で登録されました。

白く淡いピンク色の花で、花心を包み込むような優雅な形をしており、1週間程度経過しても花心が黒くならないのが特徴です。また、「ソメイヨシノ」やアメリカ産の「アケボノ」は病気にかか

りやすく樹齢が比較的短いのが欠点ですが、「陽春」は病気や胴枯れにも強い品種です。市の天然記念物にも指定されており、春には枝いっぱいの花を咲かせ、周囲の田園風景と一体となり、のどかな風情を醸し出しています。

■所在地 丹原町来見

■管理者

丹原町土地改良区

■駐車場 なし



市天然記念物の桜「陽春」

